

EIJによる

拡張英単語ネットワーク

田中茂範(著)

はじめに

単語力をつけるにはどうすればよいかという質問は、これまで何度も受けました。そして、単語力といっても、「量的な問題だけでなく質的な単語力が重要で、そのためには基本語力をきちんと付けるのがよい」という論点を述べ、量的には、「有意味な形でネットワークを作っていくのがいい」というアドバイスをしてきました。

今回は、本書を執筆するにあたり、実際に 11 個の話題を決め、それに関連した語をリストし、EIJ (English in Japanese) による英単語ネットワークを作成してみました。EIJ というのは、地の文が日本語で、その中に英語表現を加えていくというやり方です。日本語が文脈になるため、英語表現を意味ある形で覚えることができます。この EIJ テキストを作成する過程で、この方法が思ったよりはるかに効果があるということをぼく自身実感しています。例えば、「天候」に関する英単語ネットワーク (EIJ テキスト) を作ることで、天候に関する英語表現が一気に伸びたという印象を持っています。実際、大学生を対象に EIJ テキストを使ってみると、とても好評で「これだと難しい専門用語でも自然に覚えることができる」とか「こういうふうにして覚えていると実際に単語を使う時に使いやすい」といったコメントを挙げていました。

拡張語力は学習者が必要に応じて身につけていくものです。英単語ネットワークを作成し、関連テキストを読む際に利用する、あるいはテキストからネットワーク自体をさらに充実化させる、といったことを実践すると、リストとしてではなく、内容のあるコンテンツとして語彙力を身につけていくことができますはずです。

たしかに、英単語ネットワークを作る作業は手間がかかります。しかし、その価値は十分にあります。作り方に唯一の正解はありません。自分流のネットワークでいいのです。EIJ によるネットワークの数が増えれば、その分だけ、総合的な英語力も高まっていくはずです。

田中茂範 (PEN 言語教育サービス代表、慶應大学名誉教授)

目次

はじめに	1
<i>CHAPTER 1</i> インターネット関連ネットワーク：EIJ.....	3
<i>CHAPTER 2</i> 経済・金融関連ネットワーク：EIJ	11
<i>CHAPTER 3</i> 気象関連ネットワーク：EIJ	24
<i>CHAPTER 4</i> 料理関連ネットワーク：EIJ	34
<i>CHAPTER 5</i> 医療関連ネットワーク：EIJ	49
<i>CHAPTER 6</i> 政治関連ネットワーク：EIJ	65
<i>CHAPTER 7</i> 人物関連ネットワーク：EIJ	74
<i>CHAPTER 8</i> 環境問題関連ネットワーク：EIJ	90
<i>CHAPTER 9</i> オリンピック関連ネットワーク：EIJ.....	103
<i>CHAPTER 10</i> ホテル関連ネットワーク：EIJ.....	108
<i>CHAPTER 11</i> 大学教育関連ネットワーク：EIJ.....	116
おわりに 語彙の創造的使用.....	132

註：各章の冒頭の写真はすべて Free Stock Photos: PEXELS からのものです。

CHAPTER 1 インターネット関連ネットワーク：E | J



IT (information technology) は「情報技術」のことですが、最近は ICT という言い方もよく耳にします。information and communication (s) technology ということです。ICT の「技術革新」(technological innovation) によって情報伝達は大きく飛躍し、その代表が the Internet です。

組織内で閉じた形で使われる a private network は intranet (イントラネット) と呼ばれますが、外部に開かれた network は extranet といいます。Extranet と同義語になっているのが the Internet です。現在では、the internet と the Internet の両方の綴りを目にすることが多くなりましたが、I を大文字で書くのが一般的です。小文字で internet とすれば、2 つ以上の network が繋がれている状態をいい、世界規模の巨大な internet は the Internet ということ考えるとよいと思います。

The Internet の参加者である netizens (ネット市民) の数は英語を世界中で話す人の人口を大きく越えているでしょう。netizen としてふるまうには netiquette を身につける必要がありますが、実際は Internet courtesy (インターネット使用上の礼儀) は守られないことが多々あります。

新しい分野が生まれるとそこに新しい用語が生まれます。今やおびただしい数の Internet Terms があります。

日本語にも浸透したインターネット用語

インターネット用語といえば技術的でむずかしそうですが、その多くが、すでに日本語の日常言語に浸透しています。実際、Internet 関連の用語は英語がそのまま日本語でも使われ、言葉を聞けば聞いたことがあるというものが多い含まれます。

byte	バイト (メモリーの単位)
gigabyte	ギガバイト
data mining	データマイニング
CD-ROM (compact disk - read only memory)	CD ロム
download	ダウンロード
email	e メール
flaming	炎上
hardware	ハードウェア
hacker	ハッカー
LAN (local area network)	LAN
mailing list	メーリングリスト
modem	モデム
posting	投稿
server	サーバー
spam	スパムメール

URL ネット上の www のアドレス

これらは全部耳にしたことがあると思います。Wi-Fi なんかもそうですね。これは Wireless Fidelity の略語ですが、wireless Ethernet のことを指します。Ethernet は LAN 内でコンピュータを繋ぐ方法 (a method of networking computers in a LAN) です。web server 側から web browser 側 (ユーザー側) に送られるある種の情報 (サービスをユーザーごとにカスタマイズするのに有用な情報) のことを cookie といいます。 「クッキー」なので悪い情報という感じはしないですね。こうした比喩的な言葉の使い方が多くみられるのが IT 用語の世界です。

日本語からはわからない意外な表現

もちろん、意外な表現もあります。「ホームページ」は website といい、「ホームページを立ち上げる」に当たる英語表現は build / construct a website といい。a website を開くと web pages があります。webpages の集合が website であると考えてもいいですね。

「コンピュータをインターネットに接続する」だと connect をすぐに連想するかもしれませんが、hook up to the Internet という言い方が一般的です。「そこをクリックして」は click という動詞を使いますが、Click on it. と on が必要です。「ログインする」も log in to the computer と to という前置詞が必要です。「文字化けする」は garble という動詞を使い、Your email has been garbled, so I can't read it. のように使います。文字化けは the garbled で名詞としても使います。このように意外な使い方もあります。

「文章やデータを閲覧する」という際の動詞は view あるいは browse を使うことが多いようです。You can view all sorts of data about the accident on the Internet. がその例です。「閲覧者」も viewer あるいは browser といい。ちなみに、download (ダウンロード) は誰でも知っている用語ですが、逆の操作は upload (アップロード) といい。reload (リロード) という操作もありますね。情報検索エンジンとして広範囲に使われているのが Google であり、「検索する」という動詞で google を使うのは一般的な傾向です。ひとつの会社名が動詞として使われるようになれば大したもの。

インターネットの負の側面

さて、インターネットではデータに自由にアクセスできることが重要で、access は notice (通知), choice (選択), access (アクセス), security (安全) から構成される「公平な情報の取り扱い原則」(the fair information practice principles) (the U.S. Federal Trade Commission が定める原則) の3番目の要素です。なお、notice は使用者の個人情報を集める際にそのことを告知することを意味するコトバです。

ネット上では匿名性 (anonymity) が保証され、誰でも、どこでも、何時でも参加できるため、種々の computer crime が起こります。computer crime は “any crime that involves a computer and a network” と定義されます。the Internet を利用した犯罪のことは net crime あるいは cybercrime とも呼ばれ、cracking, copyright infringement, child pornography, financial theft, hacking などが含まれます。コンピュータウイルス (computer viruses) は大きな社会問題になっており、それに対抗するための antivirus software が次々に開発されていますね。子どもが危険なサイトを閲覧しないように親が監視できるソフトとして monitoring software もあります。

「ウイルス」という言い方をする理由は、以下の定義を見るとわかります。

A computer virus is a computer program that can replicate itself and spread from one computer to another

勝手に自動複製して次々とコンピュータに広がる様は、まさに、ウイルスですね。これは computer program の1つですが、通常、プログラムのことを software といいます。この性質の悪いプログラムを malware と呼ぶことがあります。mal- は「悪い」という意味の接頭語です。malware には computer viruses だけでなく、computer worms, Trojan horses, rootkits, spyware などが含まれます。コンピュータ学では software assurance, secure systems, or ganizational security などを研究する安全学 (security studies, security technology studies) が重要な研究ですが、まさに internet security vulnerabilities (インターネットの安全に関する脆弱性) をついてくるのが malware だといえます。

SPAM の由来

「迷惑な電子メール」 annoying email / unsolicited bulk email (UBS) のことを spam mail とか junk mail といいます。不特定多数の人に一方的に送信する electronic messaging system が spam で、典型的には email spam を連想しますが、Web search engine spam, spam in blogs, wiki spam, online classified ads spam, Internet forum spam, social networking spam などがあるようです。「メーリングリスト」 mailing list があれば「オペレーティングコスト」 (operating cost) をかけないで、mass mailings によって「宣伝」 (advertisement) を行うことが可能という側面がありますが、一般的には迷惑なものと思われています。spam mail を流す行為を spamming といい、そういう行為をする人のことを spammer といいます。それほどまでに「認知度」 recognition 得た言葉ですが、これは造語ではないとのこと。

つまり、この spam の名称は、Hormel Foods Corporation の製品名に由来するとのこと



SPAM は第一次世界大戦の頃からあり、2つの大戦中は Special Army Meat として広く普及し、現在でもスーパーなどで購入できる有名なハムの缶詰です。その缶詰がどうして spam mail の spam になったかの不思議ですね。そのヒントは 1969 年から 1974 年頃まで the BBC で放送された Monty Python's Flying Circus という sketch show と呼ばれるコメディショー (comedy show) にあります。その中で、バイキング (the Viking) たちがレストランの一角に座っているところに、2人の客が現れ、朝食を注文しようとしています。何があるかと給仕に聞くと、彼は、次のようにいいます。

Egg and bacon / Egg, sausage and bacon / Egg and spam / Egg, bacon and spam / Egg, bacon, sausage and spam / Spam, bacon, sausage and spam / Spam, egg, spam, spam, bacon and spam / Spam, spam, spam, egg, and spam / Spam, spam, spam, spam, spam,

spam, baked beans, spam, spam, spam and spam / Lobster thermidor aux crevettes with a Mornay sauce garnished with truffle paté, brandy and with a fried egg on top and spam / Spam, spam, spam, spam, spam, spam, spam, spam, lovely spam! Wonderful spam!

ここでの spam はハムの缶詰のことです。そして、2 人の客が spam 抜きで頼むというと、バイキングたちが次のように歌います。

"Spam, spam, spam, spam, spam, spam, spam, spam, lovely spam! Wonderful spam!"

この執拗な spam の繰り返しは、印象的で、Bulletin Board services (BBS) などで、繰り返し反復されて迷惑な email chain letters, や massive junk postingsなどを指すようになります。spam mail が世界的に有名になるきっかけの 1 つは、ほくもよく覚えています。1994 年に盛んにメールに流されてきた “Green Card Lottery – Final one?” というやつです。覚えている読者の方もおられると思います。Canter と Siegel という 2 人の弁護士が送った spam mail でした。

ネットのプラスの側面：検索と連結

ネットでは情報検索 (search) が盛んに行われます。そのためのソフトとして search engine (検索エンジン) や browser (ブラウザー) があります。browser は w.w.w. (world wide web) 上にある情報を見つけたり、閲覧したり、聞いたりするためのソフトウェアで Netscape Navigator や Microsoft Internet Explorer などが有名です。Navigator や Explorer はいかにも航海用語の転用で netsurfing などとも連想されるコトバです。

インターネットの強みは連結機能にもあります。世界中の人々が繋がるということです。それを可能にするのが email であり blog であり chat です。blog (ブログ) は web log の b + log の合成語ですが、a blog で a web site のことをいい、複数の人がそこに個人的な見解などを投稿 (post) します。postings to blogs で「ブログへの投稿」という意味で

す。影響力のあるブログを持つ人のことを power blogger といいますが、the power of a blog はどれだけの人を集めるかにかかっています。blog は動詞としても使い、ブログを維持管理するという意味です。online diary あるいは online journal といった感じで使う人が多いようです。写真を投稿する photo blog やビデオを載せる video blogging あるいは、音楽の場合には MP3 blog などと呼ばれます。連結機能は人々だけでなくモノ同士も連結し、IOT (Internet of Things) などと呼ばれ、さらには、IOT の応用として Smart City なるものも構想され、モデルケースが作られています。

SNS (social networking service) は、以前、映画の主題にもなりました。SNS は文字通り、email などを使って人と人をつなげ、人々の間に social networks あるいは social relations を構築するためのサービスで、Facebook はその代表格です。MySpace は音楽とエンタメを中心とした SNS で規模としては Facebook に次ぐ会員数を誇っています。日本では最大規模の SNS は mixi で、匿名か実名かでいえば mixi は匿名 (pseudo name) で、Facebook は実名 (real name) でやりとりをします。たいていのコミュニケーションサービスにはチャット機能と掲示板機能が含まれています。

掲示板は、英語で bulletin board そのままです。英国では notice board だとか pin board という言い方もするようです。いずれにせよ、公共性が高く、誰でも読むことができるものです。一方、chat は個人間で行われる real-time Internet text messaging のことです。正確には、Internet Relay Chat (IRC) という言い方をします。もともと channels と呼ばれる討論における group communication のために作られたものですが、1 対 1 の遣り取りにも使われます。最近、podcasting (ポドキャスティング) も盛んです。podcasting はアップル社の audio player である “iPod” と broadcasting の合成語で、インターネット上に音声や動画のデータファイルを公開する方法のことです。

SNS は政治的、宗教的、地理的境界 (political, religious, and geographical borders) を越えて、関心を共有する者同士がオンライン上でのコミュニティー (online communities) を形成し、それは若者文化、教育、経済、アイデンティティなどさまざまな局面で大きなインパクトを与えています。

コンピュータの利用者は real-time web を求め、技術もそれに応えています。5G とか次世代の 6G などはその技術の典型です。今ここで起こっていることを伝えるというのが real time の重要な要素です。ちょうどライブの放送（live radio and television broadcasts）のような感覚で、状況を伝える Twitter はまさに、real-time web services の代表的存在です。140 文字という限度内で何をしているのか、そして何を感じているのかをライブで「放送」することができるからです。Twitter は microblog の代表格です。Facebook では音声や動画を転送・再生するための streaming を使った Live Feed を導入し、リアルタイムで友人が何をしているかを見ることができるようになっているようです。

IT の分野は、日々の進歩を遂げており、その関連用語もどんどん変化していくことが予想されます。関心のある方は、意識的に、IT glossary の watcher になってください。

メディア

コンピュータを語るには media を抜きに語ることはできません。media はそのままでは意味が曖昧ですが、advertising media, broadcast media, digital media, electronic media, hypermedia, mass media, multimedia, new media など修飾語を伴って用いられます。メディアの単数形は medium です。「中間」とか「霊媒師」という意味もあります。つまり、「媒介」としての「メディア」（medium）です。それは連結の働きがあります。霊媒師も、あの世とこの世の中間にいて 2 つを連結するといわれています。もうひとつ、medium には「媒体」としての働きがあります。「何かを伝える媒体」ということです。これは伝達機能としてのメディアですね。